

第1日目 9月20日 (土) 午前

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
9:00	シンポジウム I (公開) 世界地誌学習の新たな方向性 ——アメリカ地誌と新しい地理的概念——	シンポジウム II (公開) 日本地理学会100周年！いま一度 ジオパークと地理学の 関係を考える
9:20	〔オーガナイザー〕 田部俊充 (日本女子大)・ 吉田 剛 (宮城教育大)	主催：ジオパーク対応委員会 〔オーガナイザー〕 河本大地 (奈良教育大)・ 宮原育子 (宮城学院女子大・名誉)・新名阿津 子 (高知大)・鈴木比奈子 (専修大)
	開始時刻 9:00	開始時刻 9:00
9:40	S101 9:00-9:18 田部俊充 (日本女子大)：世界地誌学 習の新たな方向性—アメリカ地誌と新 しい地理的概念	S201 〔趣旨説明〕 9:00-9:20 河本大地 (奈良教育大) ほか：シンポ ジウム「日本地理学会100周年！いま 一度ジオパークと地理学の関係を考え る」趣旨説明
10:00	S102 9:18-9:36 二村太郎 (同志社大)：生活様式・生 活文化とアメリカ地誌	〔情報共有〕 9:20-9:40 宮原育子 (宮城学院女子大・名誉)：日 本のジオパークの発展における地理学 研究者の関わり
10:20	S103 9:36-9:54 小田隆史 (東京大)：ジェントリフィ ケーションが生む防災の新たな課題— サンフランシスコにみる富裕都市の脆 弱性	〔休憩〕 9:40-9:50 9:50-11:00
10:40	S104 9:54-10:12 山内洋美 (宮城県仙台西高)：生徒か らアメリカを引き出し、ミステリーを つくって解く地誌学習	S202 鈴木比奈子* (専修大)・高場智博 (五 島列島ジオパーク推進協議会)：「ジ オパーク」という仕事において地理学 的視点が果たす役割
11:00	S105 10:12-10:30 吉田 剛 (宮城教育大)：アメリカ地理 スタンダード2012年版における「場所 と地域」の系統	S203 新名阿津子 (高知大)：ジオパークに おけるローカルアイデンティティの再 生と強化
11:20	〔総合討論〕 10:40-11:20 〔コメント〕 11:20-11:35 S106 小関祐之 (文部科学省)：コメント・ 地理教育におけるアメリカ地誌	〔休憩〕 11:00-11:10 〔フロアとの意見交換〕 11:10-11:45 コーディネータ 河本大地(奈良教育大)
11:40	〔総括〕 11:35-11:50 S107 井田仁康 (筑波大・名誉)：総括・世 界の地理教育の動向と世界地誌学習	〔総括〕 11:45-12:00 宮原育子 (宮城学院女子大・名誉)
	〔おわりに・次回予告〕 11:50-12:00 終了時刻 12:00	終了時刻 12:00
12:00	昼 休 み	

第1日目 9月20日（土） 午前

第 3 会 場		第 4 会 場	開始時刻
			9:00
			9:20
			9:40
			10:00
			10:20
			10:40
〈水文〉	〈災害〉		
307 花田心吾（駒澤大・院）：遠賀川流域における河川水の水質組成と石炭採掘坑跡・ボタ山	407 池谷和信（国立民族学博・名誉）：災害と地域社会―東日本大震災の事例		11:00
308 鈴木秀和（駒澤大）：鬼押し溶岩流末端部における豪雨時にみられる湧水温の変動	408 藤 媛媛（東北大）ほか：住民主体の活動による地域資源創出のプロセス―宮城県七ヶ浜町「おはじきアートよがさき」の事例		11:20
309 沼尻治樹（日本測量協会測量技術センター）：数値地形図画像を学習データとした機械学習モデルによる谷線と河川の自動判読の試み	409 高木 亨（淑徳大）：福島県双葉8町村における生活保護受給の変化と震災復興		11:40
			12:00
昼 休 み			

第1日目 9月20日（土） 午前

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
9:00		〈政治・社会〉 601 鹿嶋 航（筑波大・院）ほか：学校再編事業の地域的影響とその位置づけ—長野県大町市を事例として
9:20		602 久井情在（国立社会保障・人口問題研）：広域地名「奥州」の市名化に関するスケール論からの考察
9:40		603 甲斐智大（大分大）：地方製造業都市における福祉産業の人材確保メカニズム—インフォーマルな採用ルートの形成プロセス
10:00	〈人口・行動〉 504 鄭 軼璇（東京科学大・院）ほか：日本の都市圏における通勤者の重力モデルの改善—時間および空間構造に基づく解釈	604 畠山輝雄（鳴門教育大）：地域包括ケアシステム構築における「地域特性」とは何か？
10:20	505 小池司朗（国立社会保障・人口問題研）ほか：都道府県間人口移動変化の人口学的要因分析—日本人と外国人の比較を中心に	605 菅原 至（明治大・院）：施政権返還前後の小笠原諸島・父島における社会再編
10:40	506 森 泰三（ノートルダム清心女子大）：多様な世代で構成される高経年大規模住宅団地の実態と世代循環	606 宋 弘揚（梅光学院大）：地方自治体による多文化共生と防災のまちづくりの推進の成果と課題—山口県下関市を事例に
11:00	〈都市・交通〉 507 西山弘泰（駒澤大）：地方都市の分譲マンションは持続可能なのか？—岡山県岡山市を事例に	607 嵯 宸（東京大・院）：祝祭にみる場所に基づくエスニシティの構築—横浜関帝誕を例に
11:20	508 田中 諒（京都大・院）：近代・埼玉県における都市システムの形成	608 松宮 邑子（埼玉大）：私費外国人留学生生活実態調査にみる「留学生」の多様性
11:40	509 能津和雄（東海大）：湘南地域の定義はなぜ曖昧なのか	609 三浦尚子（社会理論・動態研究所）：外国人排斥偏向の街頭演説によるヘイトスケープの形成
12:00	昼 休 み	

第1日目 9月20日（土） 午後

第 1 会 場	第 2 会 場	開始時刻
シンポジウムⅢ（公開）		13:00
概念を視野に入れた地理歴史科 教師の再文脈化 ——次期学習指導要領改訂を見据えて——		13:20
主催：地理教育専門委員会・地理教育国際共同 研究グループ 〔オーガナイザー〕伊藤直之（鳴門教育大）・ 金 玟辰（筑波大）・山本隆太（静岡大）		13:40
開始時刻 13:00		
S301 〔趣旨説明〕13:00-13:15 伊藤直之（鳴門教育大）：シンポジウ ム「概念を視野に入れた地理歴史科教 師の再文脈化—次期学習指導要領改訂 を見据えて」の背景		14:00
〔座長〕伊藤直之		
S302 〔Keynote（基調報告）〕13:15-14:00 Tan, G. C. I. (Nanyang Technological Univ., Singapore):Geography education in Singapore: From environmental to sustainability education		14:20
通訳：山本隆太（静岡大）		14:40
S303 14:00-14:20 Yang, J.（関西外国語大）：シンガ ポールの学校地理における地理的概念 をもとにした実践の事例研究		15:00
S304 14:20-14:40 藤澤誉文（高知県立高知国際中・高）：概 念型探究学習を取り入れた地理授業の 実践と教師の再文脈化—バカロレア認 定校MYPプログラムの場合		15:20
〔休憩〕14:40-14:50		15:40
〔座長〕金 玟辰（筑波大）		
S305 14:50-15:10 宇都宮明子（島根大）：歴史的思考の 概念に着目した歴史教育改革に関する 考察—歴史教師のビリーフに関する国 際比較調査に基づいて		16:00
〔コメント〕15:10-15:25 山田秀和（岡山大）		16:20
〔総合討論〕15:25-15:50		
終了時刻 15:50		16:40
17:10~17:55 吉野賞受賞記念講演		17:00

第1日目 9月20日 (土) 午後

開始時刻	第 3 会 場	第 4 会 場
	〈気候〉	〈災害〉
13:00	311 中川清隆（立正大）：微気象・気候学の先駆者としてのミランコビッチ	411 宮本真二（岡山理科大）ほか：アジア・モンスーン地域の都市化の進展と洪水災害
13:20	312 市野美夏（情報・システム研究機構 データサイエンス共同利用基盤施設）ほか：近世福島中部における夏季日射量の変動と人口の応答	412 川村 壮（北海道大）ほか：大規模地震・津波発生時の農業と関連産業の経済的被害の推計—日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震を事例として
13:40	313 中島 虹（産総研）ほか：電力ビッグデータとd4PDFを用いた将来電力需要量の予測	413 小野塚仁海*（北海道大・院）・橋本雄一（北海道大）：災害による都市のディリーリズム変化の時空間的特徴
14:00	314 山野博哉（東京大）ほか：気候変動による沿岸海洋生物の変化に対する人間社会の適応	414 高橋徹大（京都大・学振DC）：戦後岐阜市の堤外地集落における水防システムの形成
14:20	315 平野淳平（帝京大）ほか：長崎—東京気圧差指数からみた東アジア冬季モンスーンの長期変動	415 岩船昌起（鹿児島大）：桜島大噴火への自主防災組織の備え—鹿児島市中心部の八幡校区からの避難に注目して
14:40	316 今枝侑香*（鳥取環境大・院）・重田祥範（鳥取環境大）：全国における霧発生日数の季節変化と経年変化	416 岩佐佳哉（福岡教育大）：中山間地において発生した孤立集落および道路寸断箇所の特徴
15:00	317 森山結奈*（鳥取環境大・学）・重田祥範（鳥取環境大）：岡山県高梁盆地で発生する霧の発生頻度と消散時刻の季節変化	417 坪井壘太郎（帝京大）：市民社会組織による被災者支援の成果と課題に関する研究—令和元年台風第19号における栃木県宇都宮市を事例として
15:20	318 野坂尚立*（鳥取環境大・学）・重田祥範（鳥取環境大）：気候区分の違いによるソメイヨシノの開花日と気温・黒球温度の関係	418 有馬詩織*（福島大・院）・初澤敏生（福島大）：福島県本宮市における町内会・自主防災組織による防災活動の特徴—東日本台風時と現在の活動を中心に
15:40	319 竹本柊香（鳥取環境大・学）ほか：SD法を用いた気象・地理的要因がもたらす心理的効果	419 植松尚太（大阪教育大・院）：地域防災における地域おこし協力隊の活用可能性
16:00	320 工藤達貴*（筑波大・院）・日下博幸（筑波大）：秋田県の局地風「生保内だし」はヤマセ由来の風なのか？	420 五十嵐純護（筑波大・院）ほか：豪雨災害における帰宅困難者の行動と関係主体の支援対応—2019年10月25日の千葉市を事例に
16:20	321 西 暁史*・川畑勇侍（防衛大学校）：北陸・新潟地方の極端高温に対するフェーンの影響	421 村山良之（東北大）ほか：学校防災の基盤となる災害特性を把握整理する表の提案
16:40	322 澤田康徳（東京学芸大）：夏期の関東地方およびその周辺の高・低湿時における対流性降水出現の時間的特徴	422 森 康平（函館高専）ほか：放課後学童クラブにおける水害時に必要とされる知識及び知覚環境の状況とその課題
17:00		

第1日目 9月20日（土） 午後

第 5 会 場	第 6 会 場	開始時刻
〈都市・交通〉	〈農業・農村〉	
511 荒木一視（立命館大）：都市の公共空間における食	611 原田一学（広島大・院）：農業における障害者就労の空間的特徴—岡山県を事例に	13:00
512 鈴木勇人（東京大・院）：東京大都市圏の墓地供給と政策的対応の地域差	612 原 将也（神戸大）：新作物キャッサバによる地域振興の可能性—群馬県邑楽町の事例	13:20
513 岩井優祈（東京大）ほか：研究開発型スタートアップ企業の立地選択における起業家の意思決定プロセス	613 趙 文琪*（一橋大）・森本健弘（筑波大）：人口減少時代の日本における耕作放棄地の要因—関東地方を対象とした2段階最小二乗法（2SLS）による実証分析	13:40
514 王 龍飛（大阪公立大・院）：大阪市中央区南部における中国系ポストニューカマーの商業的実践と新たな縁社会の形成—従来の「地縁・血縁」から「商縁」への転換に注目して	614 張 貴民（愛媛大）：水稻畑苗移植栽培技術のイノベーションと水稻産地の地域的変化	14:00
515 周 海玥（横浜市立大・院）：中国の資源型都市における単位空間—任丘市・華北油田を例として	615 柏木純香（朝日大）：水稻防除におけるドローンの利用形態	14:20
516 伊藤徹哉（立正大）ほか：ドイツにおけるマイクロモビリティの社会実装を通じた都市再生—デュッセルドルフ市を事例に	616 前田竜孝*・車 相龍（長崎県立大）：小規模離島の地域振興活動を支える社会経済的基盤—長崎県佐世保市高島を事例に	14:40
517 植 遥一郎：高速道路の開通に対する沿線地域の期待—市町村・経済団体へのアンケート調査の結果から	617 畠山 豪（東京大・院）：伊吹産地におけるイリコ生産の展開と価値秩序の再構築	15:00
518 滝沢友子*（東京都市大・院）・西山敏樹（東京都市大）：東村山市におけるコミュニティバスの制度形成過程について—グリーンバス導入期（1999～2003）を中心に	618 崎田誠志郎（久留米大）：漁場利用慣習の行方—和歌山県串本町のイセエビ刺網をめぐる10年間の変化	15:20
519 大谷友男（富山国際大）：供給制約に伴う路線バスのサービス水準低下の実態	619 伊賀聖屋（名古屋大）：インドネシアの環境保全型養殖における気候変動への適応	15:40
	620 金 科哲*（岡山大）・Nguyen, Q.（Univ. of Economics Ho Chi Minh City）：ホーチミン市近郊農村の工業化とコミュニティの適応戦略	16:00
	621 大橋壮真（名古屋大・院）：牛ふん堆肥の供給過剰地域における堆肥の流通と畜産農家の対応	16:20
	622 若本啓子（宇都宮大）：北海道十勝地域における肉用牛経営の持続可能性に関わる意思決定—経営改善と環境負荷低減の取組みを中心に	16:40
		17:00

第2日目 9月21日（日） 午前

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
9:00	シンポジウムⅣ（公開） 地球的課題解決のための資質・能力を育成する地理教育 ——小学校・中学校・高等学校までの一貫カリキュラムに向けて——	シンポジウムⅤ（公開） 日本地理学会地名問題検討委員会の発足とアイヌ語地名 〔オーガナイザー〕 岡本耕平（愛知大）
9:20	主催：地域研究委員会・地球惑星科学委員会合同地理教育・ESD分科会，公益社団法人日本地理学会 〔オーガナイザー〕井田仁康(筑波大・名誉)・村山朝子(茨城大・名誉)・由井義通(広島大)・久保純子(早稲田大)・山野博哉(東京大)	開始時刻 9:00 〔趣旨説明〕 9:00-9:05 岡本耕平(愛知大)
9:40	開始時刻 9:00 〔趣旨説明〕 9:00-9:10	S501 9:05-9:25 春山成子（三重大・名誉）：地名問題検討委員会の設置について
10:00	S401 井田仁康(筑波大・名誉)ほか：地球的課題解決のための資質・能力を育成する地理教育—小学校・中学校・高等学校までの一貫カリキュラムに向けて	S502 9:25-9:45 田邊 裕（東京大・名誉）：外来地名と内生地名
10:20	S402 吉田和義（創価大）：小学校社会科におけるフィールドワークと地図学習の課題	S503 9:45-10:05 遠藤匡俊（岩手大・名誉）：アイヌ語地名と川の合流点，有珠山，アイヌ集落
10:40	S403 村山朝子(茨城大・名誉)：小・中学校社会科における「地誌」学習の課題と展望	S504 10:05-10:25 富田啓介（里山湿地研究所）：地形名としてのヤチおよびヤツ・ヤトの特色と学術的・社会的受容
11:00	S404 浅川俊夫（元東北福祉大）：「地理総合」の現状と課題—担当経験者を対象とした実態調査の結果から（第1報）	S505 10:25-10:45 桑林賢治（山形県立米沢女子短大）：東北地方におけるアイヌ語地名とアイヌによるコモモレイション
11:20	S405 伊藤直之（鳴門教育大）：地球的課題解決を見据えた地理授業をつくる教師の育成	S506 10:45-11:05 小野有五（北海道大・名誉）：アイヌ語地名の平等な併記の試み—北海道，旭川市での事例
11:40	S406 中澤高志（明治大）：地理教育の社会実装—目的としての「地理」 〔コメント〕 10:45-11:10 小関祐之（文部科学省）：学習指導要領作成の立場から 吉田 剛（宮城教育大）：地理教育の立場から 〔総合討論〕 11:10-12:00	〔コメント〕 11:05-11:25 高木彰彦（九州大・名誉） 大谷伸治（弘前大） 〔総合討論〕 11:25-12:00 終了時刻 12:00
12:00	昼 休 み	

第2日目 9月21日（日） 午前

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
		9:00
〈海外地域研究・地誌〉	〈経済・産業〉	
332 小林夕莉（京都市大・学振DC）：バングラデシュ農村部における医療の多元性と人々の選択	432 伊藤 遼（名古屋大・院）：東海地方における小売チェーンの多店舗展開—重層的な業態戦略に着目して	9:20
333 蔣 宏偉（国立環境研）ほか：プランテーション開発による地域社会の生業転換と新興感染症リスク—ラオス・サワナケート県セボン郡の事例	433 岩動志乃夫（東北学院大）：岩手県遠野市におけるビールの里づくりに関わる地域おこし協力隊の活動	9:40
334 遠藤 尚*（東北学院大）・Handarto（Padjadjaran Univ.）：西ジャワ農村におけるフードチェーンの変化による農家への影響	434 高地蒼一朗（名古屋大・院）：縮小下の信州純産地における企業の対応	10:00
335 横山 智（名古屋大）：新しい「食文化の地理学」試論—大豆発酵食品の生産と利用の研究から	435 藤本典嗣（大阪経済大）：原発立地に影響を与える広域人口要因の検討—累積人口と距離帯人口の視点から	10:20
336 川田 力（岡山大）：オーストリアにおける協働的都市・地域開発の展開	436 山本大策（明治大）：原発撤退後の地域はどう変わるのか—米国の経験から	10:40
	〈地域計画・地域政策〉	
337 許 衛東（大阪大）ほか：リバーサイノベーションの拡大とその地理学的考察—ハイアール日本、セルビア国スメデレヴォ製鉄所、MINISOなどの中国系企業の事例分析	437 荒井良雄（東京大・名誉）：離島におけるICTを利用した生活・産業インフラの改善の試み—新潟県粟島の事例	11:00
338 杜 国慶（立教大）：中国の社会経済変容にみる観光の発展と地域区分	438 櫛引素夫（青森大）：青森市の除排雪にみる地域課題の構造と展望	11:20
339 魏 晶京（大阪大・院）：中国河南省の区県別可処分所得の格差からみた地域経済の変容と社会保障の課題—「全体住民の1人当たり可処分所得」による格差分析及び人口移動との関係を中心に	439 村松 晟（東京大・院）：地方圏における簡易郵便局の維持と運営上の課題	11:40
		12:00
昼 休 み		

第2日目 9月21日（日） 午前

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
9:00		
9:20	532 〈地理思想・方法論〉 野中健一（立教大）ほか：奏であう フィールドワーカー“くらし唄”から世 界をひもとく	632 〈観光〉 薬師寺浩之（奈良県立大）：海外研修 旅行に対する参加学生の満足感に関す る一考察
9:40	533 伊藤記子（大阪大・院）：ベルク風土 論の形成における北海道研究および日 本文化論の役割	633 新堀雄介（関東学院高）：修学旅行4.2 新しい形の提案「地域人材と対話する 旅」
10:00	534 〈歴史・文化〉 熊原康博（広島大）ほか：全国の原爆 関連碑のデータベース構築とその意義	634 森田昭徳*（北海道大・院）・高橋昂輝 （北海道大）：富良野市北の峰町にお ける外国資本の流入と地域コミュニ ティの空疎化
10:20	535 渡邊洋心（大阪公立大・院）：困難な 過去をめぐるパブリック・ヒストリーの 政治性—西淀川公害のオーラル・ヒスト リーを事例として	635 Sasaki, L.* and Ranaweera, E. （Tokyo Metropolitan Univ.）：New islanders driving island revitalization: Sustainable tourism initiatives in Ogasawara islands
10:40	536 米家志乃布（法政大）：銅像がつくる モダン東京名所	636 張 紅（東北公益文科大）：蔵王ペン ション村における宿泊業の継承構造と 経営戦略の多様化
11:00	537 高橋珠州彦（明星大）：近代の大火復 興町並みに用いられた石材の流通—房 州石産出地域資料からの検討	637 吉井 潤（図書館総合研究所）：富士山 周辺自治体におけるオーバーツーリズ ム対応と図書館の観光政策的活用に関 する探索的研究
11:20	538 阿部志朗（島根県立大田高）：瓦当文 様からみた近代石州瓦の生産と流通	638 渡邊夏季（横浜市立大・院）：ライ ブ・コンサートの環境負荷への取り組 みと参加者の移動による環境負荷の算 出
11:40	539 中村周作（宮崎大・名誉）：日本にお ける酒類消費の地域的展開とその動向 に関する研究	639 胡 可欣（横浜市立大・院）：SNSの投 稿写真を通じた観光客の視点分析—京 都市における外国人観光客の事例
12:00	昼 休 み	

第2日目 9月21日（日） 午後

第 1 会 場	第 2 会 場	開始時刻
シンポジウム VI（公開） 中国の人文地理学研究の最新動向 と日中学術交流 主催：日本地理学会交流専門委員会・中国地理学会国際交流工作委員会 協力：日本地理学会中国地理研究グループ 〔オーガナイザー〕柴 彦威（北京大）・小野寺 淳（横浜市立大）・小島泰雄（京都大）・任 海（日本大） 開始時刻 13:00 〔趣旨説明〕13:00-13:15 司会 小野寺 淳（横浜市立大） S601 13:15-13:35 王 承云（上海師範大）：長江経済ベルト地域におけるイノベーションのネットワーク連携に関する研究 S602 13:35-13:55 陳 林（華南師範大）：中国広東省にみられる田園回帰およびそのメカニズム 〔質疑応答・コメント〕13:55-14:05 座長 荒木一視（立命館大） S603 14:05-14:25 劉 雲剛（華南師範大）：留学の地政学—在中国ベトナム人留学生の空間的実践とアイデンティティの構築 S604 14:25-14:45 周 雯婷（広州大）：中国におけるエスニック地理学の研究動向及びその課題 〔質疑応答・コメント〕14:45-14:55 座長 山崎 健（神戸大・名誉） 〔休憩〕14:55-15:10 S605 15:10-15:30 王 徳（同済大）：上海大都市圏の境界区分—携帯電話シグナリングデータに基づく考察 S606 15:30-15:50 柴 彦威（北京大）：中国の人文地理学における行動革命及び行動地理学の発展 〔質疑応答・コメント〕15:50-16:00 座長 岡本耕平（愛知大） 〔全体コメント〕16:00-16:30 佐野 充（日本大・名誉） 荒井良雄（東京大・名誉） 小島泰雄（京都大） 終了時刻 16:30	シンポジウム VII トイレと循環型社会の地理学 〔オーガナイザー〕湯澤規子（法政大） 開始時刻 13:00 〔趣旨説明〕13:00-13:05 湯澤規子（法政大） S701 13:05-13:20 高野誠二（東海大）：キャンピングカーのトイレにおける日本と欧米との違いの考察 S702 13:20-13:35 有馬貴之（横浜市立大）：トイレは観光資源となりうるか？—訪日外国人観光客と渋谷区デザイン公衆トイレの文化的経験と行動 S703 13:35-13:50 目代邦康（東北学院大）：日本の自然保護区における排泄物の処理 S704 13:50-14:05 渡邊達也（北見工業大）：寒冷地における定住化とサニテーションの課題—グリーンランドとモンゴルの事例から S705 14:05-14:20 宇根義己（金沢大）：インドにおけるサニテーションと家畜排泄物をめぐる循環型社会 S706 14:20-14:35 湯澤規子（法政大）：近代における帝都東京の災害復興計画とサニテーション 〔休憩〕14:35-14:50 〔コメント〕14:50-15:20 野中健一（立教大） 加藤裕之（東京大） 加藤 篤（日本トイレ研究所） 〔総合討論〕15:20-16:10 終了時刻 16:10	13:00 13:20 13:40 14:00 14:20 14:40 15:00 15:20 15:40 16:00 16:20 16:40 17:00

第2日目 9月21日（日） 午後

開始時刻	第 3 会 場	第 4 会 場
13:00		
13:20	13:00～14:00 ポスター発表コアタイム（ポスター会場）	
13:40		
14:00	〈地形〉 344 古市剛久（宮城教育大）ほか：斜面崩壊で荒廃した北海道の山地斜面における侵食プロセスのモニタリング	〈地理教育〉 444 河野光浩（科学技術振興機構）：地理教育改革序説3 地理の一実務者の観点から見た2025年大学入試共通テスト地理問題の分析
14:20	345 大貫靖浩（森林総合研）ほか：北九州低山帯の小流域における土層厚分布と土壌物理特性—微地形に着目して	445 香川貴志（京都教育大）：エクスカッションに向けた成果共有による効果的な文献研究の模索
14:40	346 長田強志*（日本大・院）・森島 済（日本大）：1976年における鬼怒川流域に成立する針広混交林の構造と地形との関係	446 小森次郎（帝京平成大）：A I の生成物を使った防災と電力エネルギーに関する授業実践
15:00	347 藤井天真（京都大・院）ほか：伝統知に学ぶ河川地形管理の理念	447 鹿野友渚*（筑波大・院）・小倉拓郎（兵庫教育大）：初等・中等教育の地学・地理の教科書における自然学習・災害学習の分析—地圏・気圏学習の連携性に着目して
15:20	348 黒木貴一*（関西大）・後藤健介（大阪教育大）：スリランカ内陸部の地形と洪水への対応—ラトナプラ県中心部の例	448 小倉拓郎（兵庫教育大）ほか：STEAM教育の概念を活用したGISに関する教員研修プログラムの開発
15:40	349 宇津川喬子（奈良女子大）：ニューカレドニア・アンスパタビーチにおける海岸景観の変遷—地理学的視座からの海岸保全の重要性	449 久保哲成（神戸学院大・非常勤）：2015（平成27）年度から2024（令和6）年度の10年間の兵庫県全日制公立高等学校における地理科目担当教員の数的変化
16:00	350 菅 浩伸（九州大）ほか：瀬戸内海西部・伯方瀬戸周辺の海底地形とその成り立ち	450 伊藤智章（静岡県立富士東高）：次期学習指導要領を見据えた高校向け日本地理地誌学習教材の構築と実践—現行課程「地理総合」での展開
16:20		451 首藤慧真（広島県立教育センター）：地理システムコンピテンシーを働かせる「生活圏の調査と地域の展望」—地理総合のまとめにおける生徒の姿から見えた成果と課題
16:40		452 山本隆太（静岡大）：ドイツ地理教育における学習課題で用いられる指示用語について
17:00		

第2日目 9月21日（日） 午後

第 5 会 場	第 6 会 場	開始時刻
13:00～14:00 ポスター発表者コアタイム (ポスター会場) 〈歴史・文化〉 544 内藤了二（国土技術政策総合研）：港湾域における標本試料を用いた堆積特性の視覚化 545 佐藤由佳子（國學院大・院）：近代以降における鎮守の森の植生変化と評価・認識 546 中島柚宇（名古屋大・院）：現代巻き狩り猟における猟場の選定と環境利用—瀬戸内海島嶼部における遠征猟グループを事例に 547 稲松朋子（國學院大・院）：東北における近世大規模用水の形成過程に関する一考察 548 轟 博志（立命館アジア太平洋大）：韓国光州市の都市計画における古代武珍州の痕跡		13:00
		13:20
		13:40
		14:00
		14:20
		14:40
		15:00
		15:20
		15:40
		16:00
		16:20
		16:40
		17:00

第1・2日目 9月20・21日（土・日）

ポスター会場

ポスター発表

ポスター発表は、9月20日（土）9時～18時までと9月21日（日）9時～16時まで、ポスター1～4会場で行います。発表者による説明は、9月20日（土）17時～18時もしくは9月21日（日）13時～14時の間に行われますので、多くの会員の参加を希望します。

P001 西城 潔*・古市剛久（宮城教育大）：丘陵地における人為の痕跡としての微細地形	P011 木口雅司（東京大）ほか：インド亜大陸北東部からインドシナ半島における降水システムの長期変動
P002 岡田一弥*（筑波大・院）・山田周二（大阪教育大）：接峰面作成における山頂抽出法の提案とその有効性の検討	P012 長谷川直子（お茶の水女子大）ほか：高分解能マルチプロキシによる過去数百年の日本の寒候期気候復元―（1）展望と課題
P003 佐藤善輝（産総研）ほか：青森県小川原湖の完新世古環境変遷と考古遺跡	P013 堅田元喜（キヤノングローバル戦略研）ほか：高分解能マルチプロキシによる過去数百年の日本の寒候期気候復元―（2）プロキシ間の比較
P004 堀 和明（東北大）：完新世における氾濫原の堆積速度	P014 瀬戸芳一*・高橋日出男（都立大）：夏季晴天日の関東平野における近年の気温分布と局地風系型
P005 高橋未央（岩手大）ほか：小松市今江湯の完新世における地形発達過程	P015 鈴木智恵子（海洋研究開発機構）ほか：地上風速のバイアス評価と沿岸海上気象データ利用の試み
P006 平野優人（東京学芸大・院）ほか：リアス海岸の維持条件に関する一考察―志摩半島における内湾と外洋の比較	P016 浜田 崇（長野県環境保全研）ほか：夏季の透水性舗装および芝地舗装における表面温度の日変化の特徴
P007 高波紳太郎（筑波大）：入戸火砕流直後の都城盆地における湖の形成	P017 大和広明*・安野 翔（埼玉県環境科学国際センター）：埼玉県北部における水田と市街地の気温と暑さ指数の差
P008 羽田麻美*（琉球大）・青木 久（東京学芸大）：野外風化実験に基づく石灰岩の溶食速度・強度・表面形状の関係	P018 井上雅子*・小松原康弘（セコム IS研究所）：地理院地図Vectorを活用したベスマップの作成とその課題―逃げ地図ワークショップを事例として
P009 張 皓文*（日本大・院）・森島 済（日本大）：東アフリカにおける雨季降水量の年々変動とその要因	P019 飯沼日菜子*（日本大・院）・森島 済（日本大）：佐渡島大佐渡山地における霧水の土壌水分への寄与
P010 丁 煒*（専修大・院）・赤坂郁美（専修大）：中国南東部における雨季の進捗と東アジア夏季モンスーンとの関係	P020 岩永博之*（東京電力HD）・重田祥範（鳥取環境大）：厳冬の尾瀬ヶ原における冷気湖の空間分布

第1・2日目 9月20・21日（土・日）

ポスター会場

ポスター発表

ポスター発表は、9月20日（土）9時～18時までと9月21日（日）9時～16時まで、ポスター1～4会場で行います。発表者による説明は、9月20日（土）17時～18時もしくは9月21日（日）13時～14時の間に行われますので、多くの会員の参加を希望します。

P021 千葉 晃（杉並区立東原中）：日本の各空港における既往最高最低気温について —（1）東日本：大阪航空局管轄外の空港のデータ	P031 富田啓介（里山湿地研究所）：東南北部3県および新潟県で確認された湧水湿地—環境および植生の特色
P022 山縣耕太郎（上越教育大）：新潟県黒姫山周辺石灰岩地域における地表水・地下水の水文・水質特性	P032 江口誠一（日本大）ほか：カンボジア・シェムリアップ州における植物珪酸体化石からみた過去の低地景観
P023 秋山翹一*（法政大・学）・小寺浩二（法政大）：三富新田とその周辺地域の地下水の地理学的研究（第2報）	P033 橋本暁子（上越教育大）ほか：現地調査とオンライン調査を組み合わせた都市景観調査—韓国釜山広域市のエスニックタウンを例として
P024 田代 豪*（法政大・院）・小寺浩二（法政大）：佐賀平野のクリーク水質に関する水文地理学的研究（2）	P034 湯澤規子（法政大）ほか：山岳観光地における観光行動とトイレに関する総合的研究—上高地の公衆トイレを事例として
P025 乙幡正喜*（八洲学園大）・小寺浩二（法政大）：新河岸川流域の河川水質の変化とその要因について（3）	P035 平塚 凜（横浜市立大・院）：「呉海自カレー」にみる地域アイデンティティの再構築とフードツーリズムの展開—呉市中心市街地を事例に
P026 河野 忠*（立正大）・阿部みう（総合環境分析）：日本最古で最初の名水「真名井」の研究	P036 天野宏司（駿河台大）：秩父におけるアニメ・ツーリズム受用層の変化—秩父三部作を事例に
P027 今野明咲香*（常葉大）・山下滋映（ソルタコンサルタント）：静岡県磐田市桶ヶ谷沼における人為的影響による水域面積の変化	P037 前田陽次郎（福井県立大）：青果物輸出地点の特徴と変化に関する分析
P028 森田匡俊（岐阜聖徳学園大）ほか：観光客が津波避難行動中に利用する地理的情報の分析	P038 矢澤樹崇（神奈川大・院）：OMO時代におけるリアル店舗の立地とその変化—東京都特別区の古着店を対象に
P029 吉田瑠那（愛知県立大・院）：亀の瀬地すべりによる鉄道不通と徒歩連絡路のにぎわい	P039 川嶋健介*（日本大・院）・任 海（日本大）：東京都における「コンビニ型」フィットネスクラブの空間分布とその特徴
P030 小田原泰志*（南山大・院）・藤本 潔（南山大）：集水域からの土砂流出が海面上昇下のマングローブ立地の動態に及ぼす影響—全球平均速度と同程度の海面上昇が進む西表島の事例	P040 谷本 涼（帝京大）ほか：客観的／認知的アクセシビリティの地理的格差に関するインターネット調査でのデータ構築と予察的検討

第1・2日目 9月20・21日（土・日）

ポスター会場

ポスター発表

ポスター発表は、9月20日（土）9時～18時までと9月21日（日）9時～16時まで、ポスター1～4会場で行います。発表者による説明は、9月20日（土）17時～18時もしくは9月21日（日）13時～14時の間に行われますので、多くの会員の参加を希望します。

P041	佐藤 将（金沢星稷大）：金沢市における人流データを用いた保育所送迎行動の基礎的調査	P051	永迫俊郎（鹿児島大）：地球に根ざした「適度」の提唱
P042	川添 航（立正大）：在留外国人の多層化・多世代化と宗教施設—多文化共生推進地域、岐阜県可茂地域におけるキリスト教会を事例に	P052	小坪将輝（東北大）ほか：仙台市中心部における放置自転車の空間的分布
P043	本多一貴（立正大・院）ほか：埼玉県熊谷市における「熊谷空襲」の慰霊・継承活動の展開—民間団体と行政の取り組みの差異と協働に注目して	P053	平野勇二郎（国立環境研）ほか：気候変動緩和策・適応策としてのグリーンインフラの総合評価
P044	田中雅大（都立大）：新聞で報じられたGPS—位置認識社会の一側面	P054	兼子 純（愛媛大）ほか：産業構造転換期における韓国地方都市の中心商業地の構造—江原道太白市の事例
P045	渡邊敬逸（愛媛大）：日本における「忘れられた過疎地」の特定に関する探索的研究	P055	山田果澄（くろば亭）ほか：漁港の存在により発達した商店街の抽出—近隣型商店街における一類型
P046	大坪彩七（県立広島大・学）ほか：水害リスクを考慮した避難経路に基づく平時と災害時における避難所選択の比較	P056	劉 雨帆（横浜市立大・院）：人と水鳥の共生を目指した河川景観デザインを考える—中国における都市河川を対象として
P047	國岡莉里（県立広島大・学）ほか：公的統計とオープンデータを利用した道路距離に基づく公共交通空白地域の推定—広島市を事例に	P057	植村円香（秋田大）：ハワイ島コナにおける葉さび病の蔓延とコーヒー生産への影響
P048	潘 毅（筑波大・院）ほか：長期時系列リモートセンシング分析におけるXeeの応用—中国江西省・鄱陽湖の洪水分析を例に	P058	清水和明*（神奈川大）・田口俊夫（田村明記念・まちづくり研究会）：大都市内の市街化調整区域における農地転用の展開と「地域農業」の関係—横浜市を事例に
P049	多田忠義*・國井大輔（農林水産政策研）：オープンデータを活用した農村地域の定義に関する比較検討	P059	両角政彦（都留文科大）：奄美群島における沖永良部島の農業構造と農業経営
P050	中野仁敬（県立広島大・院）ほか：オープンデータを利用した様々な施設へのアクセシビリティに基づく地域特性の分析—浜松市を事例に	P060	橋本 操（岐阜大）ほか：ラオス・ドンクワイ村における乾季のウシ・スイギュウの放牧に関する研究

第1・2日目 9月20・21日（土・日）

ポスター会場

ポスター発表

ポスター発表は、9月20日（土）9時～18時までと9月21日（日）9時～16時まで、ポスター1～4会場で行います。発表者による説明は、9月20日（土）17時～18時もしくは9月21日（日）13時～14時の間に行われますので、多くの会員の参加を希望します。

- P061 岩井愛彩（都留文科大・院）：6次産業化研究の動向と新たな方向性について
- P062 浦山佳恵（長野県環境保全研）ほか：長野県木曽郡における先史時代の遺跡の分布と遺構・遺物
- P063 服部亜由未（愛知県立大）ほか：『水産事項特別調査』にもとづく漁村データベースの作成
- P064 大平晃久（追手門学院大）：大阪府北摂地域における住宅営団開発の住宅地
- P065 末永芽久（愛知県立大・院）ほか：リンボボ州ハマクヤ地区における身近な野生資源利用
- P066 森崎進士（九州大・院）：対馬のニホンミツバチ養蜂者の自然・社会環境の変化に対する反応
- P067 佐藤廉也（大阪大）：移住歴データと集落履歴データからみた焼畑民の移動性
- P068 伊原希望*（北海道大・院）・白岩孝行（北海道大）：北海道沿岸域における漁業建築「番屋」の変容と現況―知床半島オホーツク海側に焦点を当てて
- P069 山内啓之（立命館大）ほか：滋賀県愛知川流域の猿尾を対象に試作したVR教材の利点と課題
- P070 早川裕式*（北海道大）・小倉拓郎（兵庫教育大）：反転立体模型を用いた粘土工作による地形の理解―ひらめき☆ときめきサイエンスでのアウトリーチ実践例